

女子15キロリレーV4

新庄北

男子40キロリレー連覇

県高校

スキー

第70回全国高校スキー大会の県予選会を兼ねた第72回県高校スキー大会は13日、上市市の坊平高原クロ

勝負強い アンカー鮮やか逆転 男子

ハイライト

アンカーが鮮やかな逆転劇を演じた。距離男子40キロリレーで新庄北が新庄南金山との一騎打ちを制して2連覇を遂げた。序盤から先行を許し、2走のフイニッシュ時点で約1分50秒差を付けられたが、後半の奮起で逆転を挽回。トップを奪還した最終走者の渡部悠は「逆転を楽しんでほしい走りが出来た」と勝負強さをのぞかせた。

出だしから大きくリードされ、チームとしては予想外の展開となった。前回の全国大会にも出場した1走小林健太、2走岸益幹が「反省の多い内容だった」と振り返るも、レース前半は波に乗れず、苦戦を強いられた。

それでも、チームに諦めの気持ちはいみじもなかった。3走鈴木峻介は「厳しい展開だからこそ、いつも以上に落ち着くことを意識した」。1分弱にまで差を縮める力走で、「あとは頼んだ」と最終走者にリレーした。

「差は大きかったが、勝

スカントリー競技場で距離の男女リレーを行い、男子40キロは新庄北が1時間59分24秒3で2連覇し、女子15キロも新庄北が49分21秒5で

4年連続の頂点に立った。17日には山形市のアリオニッパック蔵王ジャンプエト同競技場でジャンプと複合が行われる。

距離

▽男子40キロリレー(10×4)
①クラシカル2、フリー2
②新庄北(小林健太、岸益幹、鈴木峻介、渡部悠) 1時間59分24秒3
③新庄南金山 2時間1分

12秒3
▽女子15キロリレー(5×3)
①クラシカル1、フリー2
②新庄北(大場友咲、丹美空、落合虹、渡部悠) 49分21秒5
③北村50分の秒3
④新庄南金山 51分の秒8

県選手権 距離

上市市・坊平高原クロスカントリー競技場
▽男子40キロリレー(10×4)
①クラシカル2、フリー2
②新庄北高(小林健太、岸益幹、鈴木峻介、渡部悠) 1時間59分24秒3
③新庄南金山 2時間1分17秒3
④女子15キロリレー(5×3)
①クラシカル1、フリー2
②新庄北高(大場友咲、丹美空、落合虹) 49分21秒5
③北村 高50分の秒3
④新庄南高 高51分の秒8



〈距離男子40キロリレー〉新庄北の3走鈴木峻介(左)がアンカー渡部悠にリレーする
=上市市・坊平高原クロスカントリー競技場

利への自信はあったと渡部悠は語る。口癖の「2可坂を勝負どころとしてわりと詰め寄り、下りでスピードに乗って一気にレースをひっくり返した。その後は独走態勢に入り、終わってみれば1分48秒差を付ける完勝だった。ヒートローは「1、2走の悔しさが分かるから、自然と力が溜った。チームのために役割を果たせた」とが何よりうれしい」と述べた。(斎藤健太)



〈距離女子15キロリレー〉新庄北の1走大場友咲(左)が2位に50秒以上の差をつけて2走丹美空につなぐ

た。エースが出した答えは後者。「自分がどれほどの差を付けられるかに勝負は懸かっている」。課題だった下半身の力を強化したことも強気のレースを後押しし、きつい上り坂も迷わずに攻めて「思った以上のリード」でチームに勢いを呼び込んだ。

2走丹美空、アンカー落合虹は「序盤の先行を生かし、落ちていてレースに臨めた」と口をそろえる。だが、本番はここから。3人が掲げる全国入賞に向け、大場は「全国の舞台は厳しい。悔いのない戦いができるよう、しっかり準備したい」と気持ちを切り替えた。

(斎藤健太)

先手必勝 エースけん引 女子

スポット

〇…距離女子15キロリレーで4年連続の栄冠をつかんだ新庄北は、1走大場友咲が引っ張った。得意のクラシカルで2位に50秒以上の差をつけてリレーし、高い地力を示した。ヒロインは「強敵相手だったが、リラックスして本来の力を出せた」と表情を緩めた。

レース前、飛ばさずに相手の出方をうかがうか、出だしからハイペースを貫くかで思案し